

ふれあい情報 速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>taisyo Kusharengo@sv.rengo-net.or.jp
 <ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

2014年12月11日(木) **第193号**

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

地域包括ケアシステムの確実な実現、要支援者に対する介護給付復元での自治体要請

全国で取り組み広がる

退職者連合では、地方退職者連合の協力を得て、2014年度政策・制度要求の重点として介護保険制度充実と低所得高齢単身女性に関する政策・制度要求を決定し、地方・地域での自治体要請行動の取り組みを全国一斉行動として実施しています。

11月28日に山梨高退連合の鈴木幹雄副事務局長(連合山梨)から山梨県での取り組み報告が以下のように寄せられましたので、ご紹介します。

<お願い>要請行動を終えた地方退職者連合からの退職者連合へのご報告をお待ちしております。

■報告締め切り日は、2015年1月30日まで。

予防給付としての復元を要請

山梨高退連合(長久保修会長、会員7,157人)では、退職者連合の「介護保険制度充実に関する要請」の全国一斉行動の決定を受け、11月5日に山梨県市長会と山梨県町村会、11月10日には山梨県に対して要請行動を実施しました。

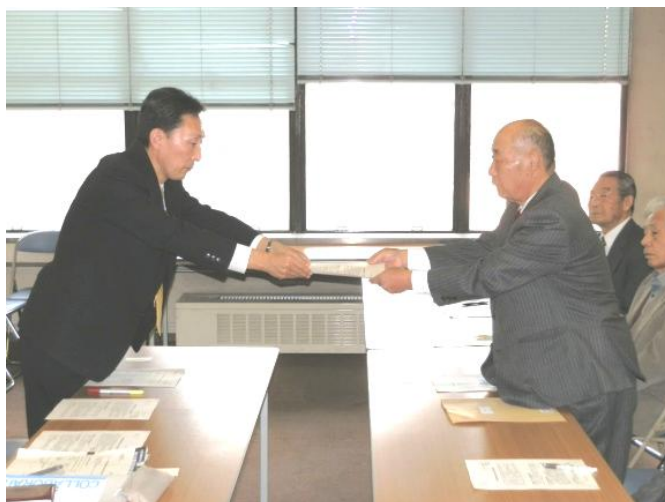
山梨県市長会と山梨県町村会要請は、山梨県自治会館3階の市長会役員室で行われ、山梨高退連合側から長久保修会長、望月紀雄副会長、上田京子副会長、田中公啓副会長、詫間仁事務局長、鈴木幹雄連合山梨副事務局長など6人が参加。山梨県市長会からは広瀬猛常務理事、山梨県町村会からは早川芳文常務理事が対応しました。

一方、山梨県要請は山梨県庁(山梨県民会館)4階402会議室で行われ、半田昭二産業労働部労政雇用課長に要請書を手渡しました。山梨高退連合からは、長久保修会長、望月紀雄副会長、平岩定市副会長、加藤秀八副会長、詫間仁事務局長、鈴木幹雄連合山梨副事務局長など6人が参加しました。

要請では、「介護保険制度充実の為の地域行動モデル要求案」をベースに「予防給付としての復元」を国に働きかけるよう求めました。また今後、自治体レベルで具現化される様々な諸施策ですが、そのサービス

を受ける側の立場や、実際の介護に関わった生の声も含め、長期間に亘る内容でもあります。

山梨高退連合では、引き続き「自助・共助・公助」のさらなる充実と人が必ず通らなければならない「老い」の問題に対する理解と認識の一步として、その趣旨も踏まえ取り組みを進めてまいります。



▲長久保会長(右)が、山梨県の半田課長に要請書を手渡す。(11月10日、山梨県庁)



▲市町村へも要請する長久保会長(左)。(11月5日、自治会館)

連合 12.5 全国統一集会

労働法制の改悪阻止へ決意新たに

東京・メルパルクホール

退職者連合、三九名参加

連合は二月五日(木)午後六時三〇分から、都内港区の東京・メルパルクホールで「労働者保護ルール改悪阻止！働く者・生活者のための政治勢力拡大をめざそう！」と訴え、連合組合員をはじめ退職者連合の会員三九名を含む一四六二名が参加して全国統一集會を開催しました。(写真左)



総選挙闘争の最中に開かれた集會は、九月二五日からスタートして二カ月間取り組まれた「連合TOP」「格差社会！暮らしの底上げ実現キャンペーン」第三弾・全国縦断アピール行動の取り組みの集大成として開かれたものです。

格差拡大への道、許さない

冒頭、連合の古賀伸明会長は主催者あいさつで総選挙闘争にふれ「労働者保護ルールの改悪を許すのか、それとも止めるのか、新自由主義的政策で一部の者だけを利用する格差社会をすすめるのか、それとも共生社会と包摂的成長をめざすのか、一強多弱の政治体制でのお任せ民主主義か、それとも緊張感ある健全な議会制民主主義か、その選択だ。重大な危機感を共有し、働く仲間の連帯を投票行動で示そう」と訴えました。

また神津里季生事務局長は基調提起の中で「タスキで全国の思いをつなぎ、世論を喚起し、民主党が頑張った結果、労働者派遣法の改悪を阻止することができた。しかし今の政治体制が続く限り、来年の通常国会ではもっと増幅されて私たち働く者に襲いかかってくる。安倍政権は、私たちが拠出している年金積立金の運用先をリスクの高い株式にシフトした。そのことで実体経済が悪くて

も株価が高値を維持することにつながっているが、損失が生じたとき誰が責任をとるのか。最後はそういう政権を選んだ国民にツケがまわってくる。極端な一強多弱の政治では日本がおかしくなる。安倍さんは『この道しかない』と言うが、その道とは労働者保護ルール改悪であり、格差拡大への道だ。そして日本の平和まで脅かす国にしてしまう道だ。五〇年後、百年後の日本の形を決定づける」と厳しく批判しました。

阿部会長、連帯訴え

また集會に参加した退職者連合の阿部会長は、第三弾行動のスタート以来、全国で連合と共に行動した中央・地方の会員に感謝を述べ、「労働法制の改悪を阻止し、格差社会の解消を目指す取り組みは、現役労働者の暮らしを改善する運動であると同時に、我が国の国民皆保険制度を維持させるための国民的な課題でもあります。退職者連合は、この運動を社会保障制度充実要求と一体のものとして連合と共に行動し、その前進を期したい」とコメントしました。

退職者連合ホームページを活用しよう！
検索「退職者連合」



▲集會に参加した退職者連合の会員のみなさん。写真2列目右から4人目は、退職者連合の阿部会長。(12月5日、都内・港区)